

# 主催者あいさつ

## 第42回九州ブロック社会教育研究大会 宮崎大会実行委員長 森山 喜代香

第42回九州ブロック社会教育研究大会宮崎大会の開催にあたり、主催者を代表して御挨拶を申し上げます。

本日は、900名を超える九州各県の社会教育委員ならびに関係者の皆様方をお迎えし、本大会を盛大に開催できますことに深く感謝を申し上げます。また、皆様方におかれましては、日頃からそれぞれの地域で社会教育の振興に大きな役割を果たしておられますことに、あらためて敬意を表します。

さて、先の東日本大震災の経験を通しまして、「人と人の絆」の大切さが広く認識されたところではありますが、本県におきましても、口蹄疫や鳥インフルエンザの発生、新燃岳の噴火災害に見舞われた際の復旧や復興の過程で、「地域の絆」の大切さを改めて認識させられました。

私たちのふるさと宮崎県は、古事記や日本書紀に記されている日向神話をはじめ、数多くの伝説や史跡にあふれた歴史ロマンをほうふつさせる「神話の国」と言われております。

これらの神話や伝説とともに、様々な地域の暮らしが人々によって営まれ、風土をかたちづくり、「地域の絆」が生まれてまいりました。

晩秋の山里に響く神楽の音、祭、踊りは、営々と続く地域の暮らしの中から、生み出されてきたものであり、宮崎の「地域の絆」そのものであります。

現在、家庭・地域の教育力が問われています。隣り近所お互いに支え合い、声かけ合い、助け合う、いわゆる「結の心」、公民館活動の原点であります。安心して暮らせる社会にこそ、真に生きる力がはぐくまれると思います。地域コミュニティの構築は、私たちに課せられた大きな活動のテーマであります。

歴史ロマンあふれる宮崎の地で、今、まさに社会教育に求められている「地域の絆」について、熱く語り、宮崎から九州各県に、さらには全国へ「絆」を発信する機会にしたいと考え、本大会のテーマを、掲げていますように「語っちみろや やっちみろや かたい絆だ！ 社会教育」と設定いたしました。

なお、本日、全体会終了後、隣の光のプラザにおいて、本大会の目玉の一つであります「名刺交換会」を開催いたします。宮崎県地域婦人連絡協議会に御協力をいただき、市町村の婦人会が御当地の自慢の郷土料理を持ち寄りまして、最高の笑顔でおもてなしをいたします。ぜひ、交流を深めていただきたいと存じます。

最後に、本研究大会の開催に御尽力いただきました関係各位に対し、厚く御礼を申し上げますとともに、御出席の皆様のご今後ますますの御健勝と御活躍を心より祈念し、あいさつといたします。